第３学年１組　図画工作科　学習指導案

令和８年１１月１９日（木）第５校時
授業者　　教諭　　五十嵐　はる菜
場所　　図工室

１　題材名　　「うつしてふえるよ でこぼこさん」

図画工作３・４年上（開隆堂）　できたらいいな
【第３学年】A表現⑴イ、〔共通事項〕⑴ア、イ　絵に表す活動

２　題材について

（１） 児童の実態（児童の実態については当日配付いたします。）

（２） 本題材を指導するに当たって

本題材は、版のつくり方や写し方を工夫することを通して、形や色、材料の扱い方や表現方法を工夫する力を培い、版に表す題材である。

厚紙や身近にある凹凸のある材料を使って版をつくり、写し方を試しながら表し方を工夫する凸版による版画の体験をさせる。

第１時	いろいろな材料を使って、でこぼこ模様のある「でこぼこさん」の版を作る。
第２時	色を変えたり、写す位置を考えて繰り返し写したりして「でこぼこさん」を増やす。
第３時	写した様子から想像を広げ、周りの様子を描き加える。
第４時	互いの作品のよいところを見つけ合い、伝え合う。

版をつくるたのしさや写した時の喜び、写し方を工夫して「増える」楽しさを味わわせることを大切にしたい。

３　学習指導要領上の位置付け

〔第３学年及び第４学年〕
A表現（１）イ、（２）イ　、B鑑賞（１）ア〔共通事項〕（１）ア、イ　絵に表す活動

４　目標・〔共通事項〕及び評価規準（※〔共通事項〕⑴ア＿＿、イ＿＿）

（１）題材の目標

・身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかり、身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表す。　〈知識及び技能〉

・「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりし、友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げる。　〈思考力、判断力、表現力等〉

・身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとする態度を養う。　〈学びに向かう力、人間性等〉

（2）題材の評価規準

知識・技能	思考･判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。 技身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。	発「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。 鑑友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	態身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

（3）評価計画及び評価方法　○：指導に生かす評価　◎：全員の学習状況を記録に残す評価

観点＼時	1	2	3	4	評価方法
知識・技能	○知	○技			行動観察・対話・表現
思考・判断・表現		◎発	◎発	◎鑑	行動観察・対話・表現・記録
主体的に学習に取り組む態度	○態				行動観察・表現・記録

5　指導計画（4時間扱い）

（1）いろいろな材料を使って、でこぼこ模様のある「でこぼこさん」の版を作る。……　70分
（2）色を変えたり、写す位置を考えて繰り返し写したりして「でこぼこさん」を増やす。45分
（3）写した様子から想像を広げ、周りの様子を描き加える。　……　35分
（4）互いの作品のよいところを見つけ合い、伝え合う。　……　30分

6　本時の学習（本時2／4時）

（1）目標　「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。　〈思考力、判断力、表現力等〉

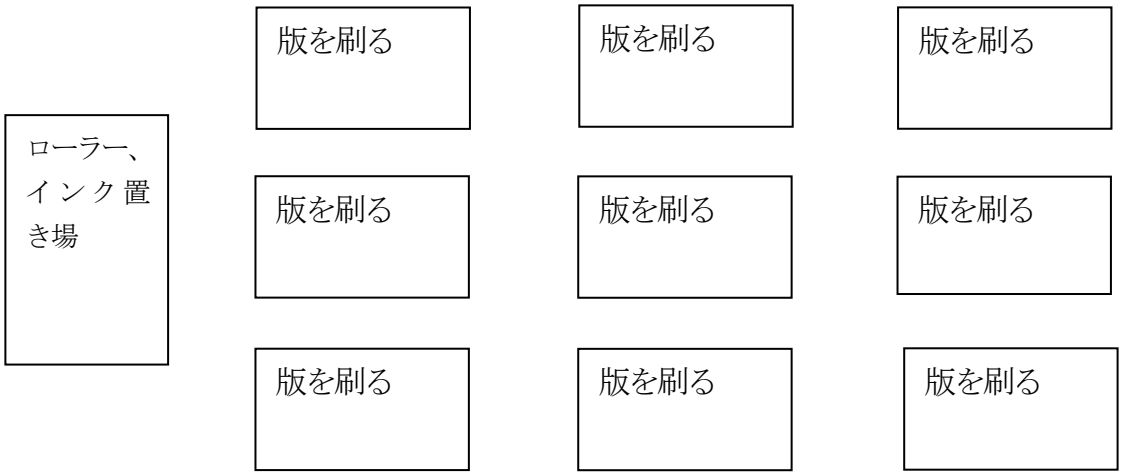
（2）準備
○教師：厚紙、画用紙、共同絵の具、ローラー、ばれん、新聞紙、マスキングテープ
○児童：身近な材料、はさみ、両面テープ、接着剤、タブレット端末

（3）展開

過程時間	学習活動 予想される児童の具体的な姿（「」）	指導の工夫 （〔共通事項〕に係る内容 ア＿＿＿、イ……）	評価と手立て 観点：評価規準（評価方法） ◎：十分満足できる状態 ◆：B評価に達しない児童への手立て
導入 5分	**提案**　色や形、写す場所を変えながら「でこぼこさん」をふやそう。 1　前時の活動を振り返り、本時のめあてと見通しをもつ。 「紙をめくる時が楽しみ。」 「インクの量はこれくらいで大丈夫かな。」	○前時の版を確認し、写す手順を確認する。 ○インクの量や、ローラーの動かし方（行きは電車、帰りは飛行機など）を具体的に指導する。	インクのつけ方、インクの量、版画の表裏などを実際に写して見せて理解させる。
展開 30分	2　インクの色や写す位置を工夫して、繰り返し写す。 「2回目は、どの向きに写してみようかな。」 「インクの色を 1 匹ずつ変えてみようかな。」 「足を組み変えて走っているようにしようかな。」	○現れた「でこぼこさん」の形や色の感じから、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表すようにする。 ○現れた「でこぼこさん」の形から発想し、手足のパーツを組み変えて動きを出してもよいことを伝える。 ○写したものから想像を広げながら、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げられるような声掛けをする。	【発】「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。（行動・観察・対話） ◎写した形や色の感じから豊かに想像を広げ、繰り返し写して、自分なりの「でこぼこさん」の世界を工夫して表している。 ◆一緒に版を紙の上で動かしながら、構成のヒントを与える。
整理 10分	3　本時の学習活動の振り返りをする。自分の学習状況を確認するとともに、次時の活動への見通しをもつ。	○次回はもう一度刷ったり、写した様子から、場面がわかるように周りの様子をカラーペン等で描き加えたりしながら、修正することを確認する。	次回は写した様子から想像を広げ、周りの様子を描き加えることを伝える。

7　場の設定

インクをつける場所、写し取る場所を分け、児童の動線が重ならないように配慮する。また、ローラーやばれんなど、共用用具の置き場所を明確にする。



机を２、３人で使うことで、インクをつける、版を刷る、めくる、版のインクを拭きとる作業場所を十分に確保する。

８　板書計画

色や形、写す場所を変えながら「でこぼこさん」をふやそう。

今日の流れ

① はんにインクをつける。
② 紙にのせて、ばれんで こする。
③ ゆっくり めくる。
④ 色や むきを かえて、また うつす。

きれいに うつすコツ

・インクは うすく のばす。
・ローラーは「行きは電車」、「帰りはひこうき」
・色を かえるときは、はんのインクを ふきとる。